

Coca-Cola West

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社



株主・投資家のみなさまへ

第50期 中間事業報告書

平成19年1月1日から平成19年6月30日まで
証券コード:2579

株主・投資家のみなさまへ	01
中期経営計画「 <i>Wing</i> 」	03
トピックス	05
地域社会貢献活動／環境推進活動	06
中間連結財務諸表	07
会社概要／取締役・監査役・経営諮問委員会	11
コカ・コーラウエストグループ会社一覧	12
株式の状況	13
株主メモ／株主優待制度	14

株主・投資家のみなさまへ

中間期の経営概況と業績

当中間期における清涼飲料業界は、昨年上半期の市場成長がマイナスであったことに加え、記録的な暖冬など天候要因も追い風となり、市場成長はプラスとなりましたが、清涼飲料各社間の販売競争は熾烈さを増しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループはこのような厳しい経営環境の中で、すべての価値基準を「お客さま基点」として、常に競争を上回る価値を提供し続け、10年、20年、30年と成長・発展し続けるべく策定した、中期経営計画「*Wing*」の達成に向け、グループ一丸となって種々の活動に取り組みました。



—コカ・コーラウエストグループ経営理念—

飲料ビジネスの未来を創造します。

私たちは、

- ❖ お客さまに喜んでいただける商品・サービスをお届けします
- ❖ 社員一人ひとりの働きがいと生活を大切にします
- ❖ 継続的な成長により株主の信頼や期待に応えます
- ❖ 社会や環境とのつながりを育みます

その結果、当中間期における連結の売上高は、1,928億6千6百万円（前年同期比72.7%増）と、昨年7月1日付の経営統合などの影響を受け増加いたしました。利益面につきましては、営業利益は41億3千7百万円（前年同期比32.2%増）、経常利益は48億5千1百万円（前年同期比40.0%増）ならびに中間純利益は26億9千万円（前年同期比55.6%増）となりました。

当中間期の取り組み

商品戦略といたしましては、最重点ブランドとして位置づけている「コカ・コーラ」、「ジョージア」、「アクエリアス」、「爽健美茶」の徹底強化をはかるべく、新商品の発売や各種販売促進活動を積極的に実施いたしました。中でも「コカ・コーラ」につきましては、「ノーカロリー コカ・コーラ」をリニューアルするとともに、新商品「コカ・コーラ ゼロ」を発売し、炭酸飲料分野の活性化ならびにコカ・コーラブランドの強化をはかりました。さらに市場成長の著しいミネラルウォーターに関しては、リニューアルを実施し、「アクアセラピー ミナクア 天然水」として発売すると同時に、機能水として「アクアセラピー ミナクア アロマモーメント」、「アクアセラピー ミナクア モーニングサイクル」の2品目を発売し、セールスおよびマーケットシェアの拡大に努めました。

また、ザ コカ・コーラカンパニーおよび日本コカ・コーラ株式会社との戦略的パートナーシップの強化に向けて、本年度よりマネジメントミーティングやマーケティングフォーラムを開催し、マーケティング戦略等について協働取り組みを開始いたしました。その成果として、自動販売機チャンネルにおける当社グループの営業エリア限定の新商品「ジョージア エンブレムカフェオレ」の発売、自動販売機によるチルド飲料のテスト販売およびカップ自動販売機用新商品の協働開発を実施しております。

今後の取り組み

今後の見通しにつきましては、アメリカ経済の減速、原油・穀物価格高に伴う原材料コストの上昇など懸念材料はありますが、円安基調継続の中での輸出の増加、企業業績の好調さを背景とした設備投資の増加傾向の持続、雇用の拡大、個人消費の底堅い動きなどにより、景気は引き続き堅調に推移するものと予想されます。

一方、清涼飲料業界におきましては、市場が成熟し大きな成長が期待できない中、今後もシェア拡大を目指した企業間の激しい競争は継続するものと予想されます。

このような状況の中、当社グループは昨年末に策定した当期を初年度とする3カ年の中期経営計画「*Wing*」の達成に向け、社員と会社の強い信頼関係のもと、競合を圧倒的に上回る成長と確固たる収益基盤の確立をはかってまいります。

配当金について

平成19年12月期の配当金につきましては、株主のみなさまのご支援にお応えすべく、当期の中間配当金を1株当たり21円、期末配当金(予想)を1株当たり21円といたしました。これにより年間配当金(予想)は、1株当たり42円となります。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役CEO

末吉 紀雄

中期経営計画「Wing」

当社グループは、社員と会社の強い信頼関係のもと、すべての価値基準を「お客さま基点」として、競争を圧倒的に上回る成長と確固たる収益基盤の確立を実現し、世界のリーディングボトラーに進化することをビジョンと定めております。また、中期経営計画「Wing」の達成に向け、グループ一丸となって4つの戦略を実行しておりますが、当中間期の主な取り組みについてご紹介いたします。

ビジョン

世界のリーディングボトラーへ

- ・ 競争を圧倒的に上回る成長
- ・ 確固たる収益基盤の確立

「お客さま基点」への変革

社員と会社の強い信頼関係

戦略

1. ザ コカ・コーラカンパニー／日本コカ・コーラとの戦略的パートナーシップ強化による新たなボトラーへの進化
2. 競争を上回る「お客さま基点」活動によるセールス・収益の拡大
3. 経営統合を活かした機能強化、効率化
4. 人材・組織の能力基盤強化

主な取り組み

1. ザ コカ・コーラカンパニーおよび日本コカ・コーラ株式会社との戦略的パートナーシップの強化

本年度よりマネジメントミーティングやマーケティングフォーラムを開催し、マーケティング戦略等について協働取り組みを開始いたしました。その成果として、自動販売機チャネルにおける当社グループの営業エリア限定商品「ジョージア エンブレム カフェオレ」の発売、自動販売機によるチルド飲料のテスト販売およびカップ自動販売機用新商品の協働開発を実施しております。

また、本年4月より日本コカ・コーラ株式会社の営業推進部門は当社の大阪本社にオフィスを移し、マーケット情報を日々共有できる環境づくりを行い、より実効性の高いマーケティング戦略、製品開発へとつなげてまいります。



2. コカ・コーラ アイ・ビー・エス株式会社との協働による基幹システムの構築

ザ コカ・コーラカンパニーと全国コカ・コーラボトラーの共同出資により本年1月1日に設立したコカ・コーラ アイ・ビー・エス株式会社*と協働し、当社はパイロットボトラーとして全国コカ・コーラボトラーのモデルとなる基幹システムの構築を進めております。

*コカ・コーラ アイ・ビー・エス株式会社は、日本のコカ・コーラシステムにおけるビジネスコンサルティングや、それを支える情報システムの開発、およびその保守運用業務全般を担っております。



3. 経営統合を活かした機能強化、効率化

本年1月1日付で、当社グループにおいて物流を担当していたコカ・コーラウエストジャパンロジスティクス株式会社、関西ロジスティクス株式会社および三笠ロジスティクス株式会社の3社を統合し、新会社コカ・コーラウエストロジスティクス株式会社としてスタートさせ、西日本エリアの物流事業の拡大や管理・間接部門の集約等による競争優位性の確立に向け、取り組みを開始いたしました。

コカ・コーラウエストジャパンロジスティクス

関西ロジスティクス

三笠ロジスティクス



コカ・コーラウエスト
ロジスティクス

4. 南九州コカ・コーラボトリング株式会社との資本業務提携

当社は、営業エリアの隣接する南九州コカ・コーラボトリング株式会社と資本業務提携を実施し、本年4月3日付で同社が実施した第三者割当増資を引き受け、同社を持分法適用の関連会社といたしました。これまでマーケティング活動を中心に協働関係にはありましたが、この提携を通じて名実ともに九州はひとつとなり、両社の企業価値の一層の増大をはかるべく、マーケティング、SCMおよび情報システムなどの各分野において協働の取り組みを開始いたしました。



トピックス

最重点ブランドとして位置付けている「コカ・コーラ」、「ジョージア」、「アクエリウス」、「爽健美茶」を中心としたキャンペーン・プロモーションの実施および新商品の効果的な発売により販売数量とシェアの拡大をはかっております。

当中間期の主な新商品

【コカ・コーラ】

【爽健美茶】

【アクエリウス】



【ジョージア】



キャンペーン

the Coke side of life / Cokeのきいた人生を

「前向き、ポジティブになれる」ちょっとしたきっかけを提供する活動を展開



プロモーション



ジョージアで
純金名刺が当たる!!

ジョージア
「気まぐれコンセプト」



アクエリウス
「アクエリウスチャレンジキャンペーン」



爽健美茶
「6つのキレイ体験プレゼント」

地域社会貢献活動／環境推進活動

株主のみなさまのご理解をいただき、剰余金から一定額を積み立てて活動資金に充当しております地域社会貢献活動および環境推進活動につきましては、近畿・三笠エリアを含む2府12県に活動範囲を拡大しております。



さわやかクラシック
コンサート(神戸市)



一輪車贈呈(和歌山県木本小学校)

地域社会貢献活動

「地域社会とともに」を基本姿勢に、「社会福祉」「スポーツ活動」「教育・文化活動」「地域イベント」の4つの活動を柱に、青少年の健全育成の支援や、地域とのより密接なコミュニケーションを進めています。

当中間期は、一輪車を小学校200校へ贈呈、パソコン等の教材を20校へ贈呈、さわやかクラシックコンサートの開催(3都市)、市村自然塾九州の運営および当社ラグビー部が指導を行うさわやかラグビークリニックの開催などの活動を実施しております。

環境推進活動

「人も環境も、さわやかに。」をスローガンとし、飲料ビジネスの未来を創造する企業として、地球環境保全を最重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の実現に貢献しています。

当中間期の主な活動としては、水を大量に使用する企業として、水資源保全に取り組むことが社会的責任と考え、昨年の佐賀県鳥栖市の「とす さわやか自然の森」における森林保全活動に続き、ミネラルウォーターの製造工場であるコカ・コーラウエスト大山プロダクツ株式会社の近郊の森林を「とっとり さわやか自然の森」として鳥取県および伯耆町との間で森林保全協定を締結しました。



「とっとり さわやか自然の森」調印式



社員による環境保全活動
(とす さわやか自然の森)

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第49期 (平成18年12月31日)	第50期中間 (平成19年6月30日)
〈資産の部〉		
流動資産:		
現金及び預金	16,311	16,242
受取手形及び売掛金	22,280	24,471
有価証券	10,668	11,370
たな卸資産	11,778	11,331
その他	17,232	15,888
貸倒引当金	△97	△92
流動資産合計	78,173	79,211
固定資産:		
有形固定資産:		
建物及び構築物	35,617	34,878
機械装置及び運搬具	20,134	19,475
販売機器	30,857	30,966
土地	57,366	56,966
その他	2,267	2,493
有形固定資産合計	146,243	144,779
無形固定資産:	5,730	5,140
投資その他の資産:		
投資有価証券	53,277	63,663
前払年金費用	10,406	12,349
その他	11,670	11,527
貸倒引当金	△594	△544
投資その他の資産合計	74,760	86,996
固定資産合計	226,734	236,916
資産合計	304,907	316,128

【土地】

土地は、販売拠点の再編を行ったことなどにより3億9千9百万円減少し、569億6千6百万円となりました。

【投資有価証券】

投資有価証券は、前期末に比べ103億8千6百万円増加し、636億6千3百万円となりました。これは主として、南九州コカ・コーラボトリング株式会社の株式を取得したことによるものであります。

【前払年金費用】

前払年金費用は、企業年金基金への拠出に伴い19億4千3百万円増加し、123億4千9百万円となりました。

(単位:百万円)

科 目	第49期 (平成18年12月31日)	第50期中間 (平成19年6月30日)
〈負債の部〉		
流動負債:		
支払手形及び買掛金	3,828	4,653
短期借入金	—	10,512
1年以内に返済する長期借入金	2,300	2,300
未払法人税等	2,674	1,453
未払金	13,866	12,662
設備支払手形	702	138
その他	7,059	9,364
流動負債合計	30,431	41,083
固定負債:		
長期借入金	2,000	1,000
退職給付引当金	4,770	4,982
役員退職引当金	249	58
負ののれん	1,867	1,659
その他	15,125	15,757
固定負債合計	24,012	23,458
負債合計	54,444	64,542
〈純資産の部〉		
株主資本:		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,073
利益剰余金	135,623	135,978
自己株式	△11,229	△11,249
株主資本合計	248,697	249,034
評価・換算差額等:		
その他有価証券評価差額金	1,604	2,401
繰延ヘッジ損益	106	94
評価・換算差額等合計	1,710	2,495
少数株主持分	54	55
純資産合計	250,463	251,586
負債純資産合計	304,907	316,128

○—【短期借入金】

南九州コカ・コーラボトリング株式会社が実施した第三者割当増資を引き受けるため、その資金調達手段として銀行借入(105億円)を行っております。

○—【長期借入金】

長期借入金は、借入金の返済により10億円となりました。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第49期中間 (平成18年6月30日)	第50期中間 (平成19年6月30日)
売上高	111,693	192,866
売上原価	62,484	110,082
売上総利益	49,208	82,783
販売費及び一般管理費	46,079	78,646
営業利益	3,129	4,137
営業外収益	696	1,224
営業外費用	361	510
経常利益	3,464	4,851
特別利益	—	277
特別損失	119	542
税金等調整前中間純利益	3,345	4,586
法人税等	1,709	1,892
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△94	3
中間純利益	1,729	2,690

【売上高】

昨年7月1日付の経営統合などの影響を受け、売上高は前年同期に比べ811億7千3百万円増収(72.7%増)の1,928億6千6百万円となりました。

【営業利益】

営業利益も昨年7月1日付の経営統合などの影響を受け、前年同期に比べ10億7百万円増益(32.2%増)の41億3千7百万円となりました。

【経常利益】

営業利益の増加を受け、経常利益は前年同期に比べ13億8千7百万円増益(40.0%増)の48億5千1百万円となりました。

【中間純利益】

中間純利益は、前年同期に比べ9億6千1百万円増益(55.6%増)の26億9千万円となりました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	第49期中間 (平成18年6月30日)	第50期中間 (平成19年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,963	12,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,949	△19,470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,309	7,135
現金及び現金同等物の減少額	△7,296	△269
現金及び現金同等物の期首残高	20,238	22,284
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,942	22,014

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、120億6千6百万円のプラス(前年同期比73.3%増)となりました。

昨年7月1日付の経営統合による規模(営業エリア等)の拡大に伴う増加などにより、当中間期の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ51億2百万円増加しております。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、194億7千万円のマイナス(前年同期比50.4%増)となりました。

当社は、営業エリアの隣接する南九州コカ・コーラボトリング株式会社と資本業務提携契約を締結し、本年4月3日付で同社が実施した第三者割当増資を引受け、同社を持分法適用の関連会社といたしました。この第三者割当増資引受けにより108億2千9百万円の支出が発生いたしました。なお、前中間期においては、岡山新拠点など販売・物流拠点の再編に伴う設備投資を実施していたことなどから、当中間期における固定資産の取得による支出は減少しております。これらの結果、当中間期の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ65億2千万円支出が増加しております。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、71億3千5百万円のプラスとなりました。

南九州コカ・コーラボトリング株式会社が実施した第三者割当増資を引受けるため、その資金調達手段として銀行借入(短期借入金105億円)を行いました。この結果、当中間期の財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ84億4千4百万円のプラスとなりました。

中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

第50期中間 (平成19年6月30日)	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
平成18年12月31日残高	15,231	109,072	135,623	△11,229	248,697	1,604	106	1,710	54	250,463
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△2,336	—	△2,336	—	—	—	—	△2,336
中間純利益	—	—	2,690	—	2,690	—	—	—	—	2,690
自己株式の取得	—	—	—	△28	△28	—	—	—	—	△28
自己株式の処分	—	1	—	8	10	—	—	—	—	10
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	797	△11	785	0	786
中間連結会計期間中の変動額合計	—	1	354	△19	336	797	△11	785	0	1,122
平成19年6月30日残高	15,231	109,073	135,978	△11,249	249,034	2,401	94	2,495	55	251,586

会社概要 (平成19年6月30日現在)

商号	コカ・コーラウエストホールディングス株式会社
所在地 本店	福岡市東区箱崎七丁目9番66号
福岡本社	福岡市博多区住吉一丁目2番25号 キャナルシティ・ビジネスセンタービル
大阪本社	大阪市北区西天満四丁目15番10号 ニッセイ同和損保フェニックスタワー
設立	昭和35年12月20日
資本金	152億3千1百万円
連結従業員数	8,489名
主な事業内容	コカ・コーラ等清涼飲料水の製造・販売およびグループ会社の経営管理等
上場証券取引所 (所属部)	株式会社東京証券取引所(市場第一部) 株式会社大阪証券取引所(市場第一部) 証券会員制法人福岡証券取引所

取締役・監査役・経営諮問委員会 (平成19年6月30日現在)

取締役

代表取締役	末吉 紀雄	CEO
取締役	原田 忠継	コカ・コーラウエストジャパン(株) 代表取締役社長
取締役	森井 孝一	コカ・コーラウエストジャパン(株) 取締役副社長
取締役	吉松 民雄	近畿コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役社長
取締役	太田 茂樹	近畿コカ・コーラボトリング(株) 取締役 常務執行役員
取締役	桜井 正光	(株)リコー 代表取締役 会長執行役員
取締役	魚谷 雅彦	日本コカ・コーラ(株) 取締役会長
取締役	本坊 幸吉	南九州コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役社長

監査役

常任監査役	新見 泰正	常勤
常任監査役	神田 博	常勤
監査役	平川 達男	前(株)リコー 代表取締役 副社長執行役員
監査役	佐々木 克	(株)西日本シティ銀行 代表取締役副頭取
監査役	京兼 幸子	京兼法律事務所 弁護士

経営諮問委員会

委員長	桜井 正光	(株)リコー 代表取締役 会長執行役員
委員	魚谷 雅彦	日本コカ・コーラ(株) 取締役会長
委員	松尾 新吾	九州電力(株) 代表取締役会長
委員	榎本 一彦	福岡地所(株) 代表取締役会長、 ロイヤルホールディングス(株) 代表取締役会長
委員	埴 俊昭	三菱重工食品包装機械(株) 代表取締役社長
委員	石原 進	九州旅客鉄道(株) 代表取締役社長
委員	松崎 隆	弁護士、徳永・松崎・斉藤法律事務所 代表
委員	武藤 英二	(株)NTTデータ経営研究所 取締役会長
委員	伊藤 邦雄	一橋大学 教授
委員	守都 正和	近畿コカ・コーラボトリング(株) 相談役

コカ・コーラウエストグループ会社一覧 (平成19年6月30日現在)

コカ・コーラウエストホールディングス

コカ・コーラウエストジャパンエリア

コカ・コーラウエストジャパン

- 西日本ビバレッジ
- コカ・コーラウエストジャパンベンディング
- コカ・コーラウエストジャパンカスタマーサービス

近畿エリア

近畿コカ・コーラボトリング

- 関西ビバレッジサービス
- ネスコ
- カディアック

三笠エリア

三笠コカ・コーラボトリング

- 三笠ビバレッジサービス
- 三笠サービス

南九州コカ・コーラグループ

製造機能

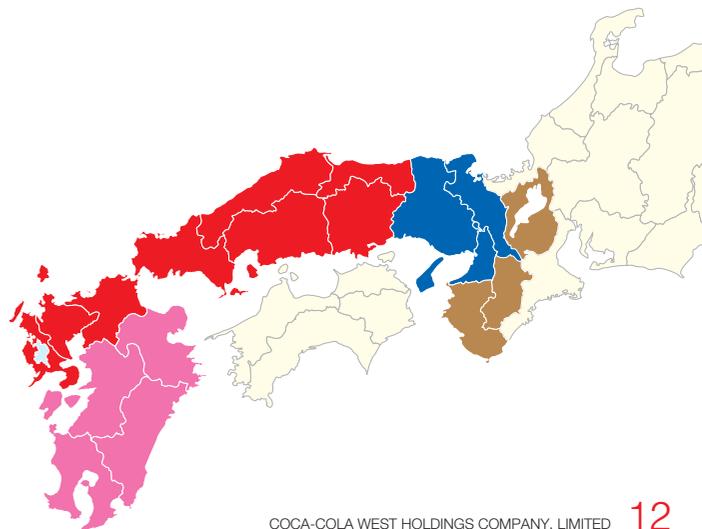
- コカ・コーラウエストジャパンプロダクツ
- 近畿コカ・コーラプロダクツ
- コカ・コーラウエスト大山プロダクツ

物流機能

- コカ・コーラウエストロジスティクス

非コカ・コーラビジネス

- ニチベイ
- 鷹正宗
- ウエストジャパンサービス
- レックスエステート
- セイコーコーポレートジャパン
- シーアンドシー
- 秋吉システムズ



株式の状況 (平成19年6月30日現在)

発行可能株式総数 270,000千株

発行済株式の総数 111,125千株

株主数 23,247名

大株主

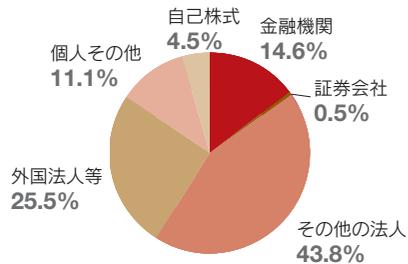
株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
株式会社リコー	16,792	15.9
麒麟麦酒株式会社	11,626	11.0
財団法人新技術開発財団	5,294	5.0
コカ・コーラホールディングズ・ウエストジャパン・インク	4,074	3.9
三菱重工食品包装機械株式会社	3,912	3.7
モルガン・スタンレーアンドカンパニーインク	3,812	3.6
メロンバンク エヌエートリーティー クライアント オムニバス	3,707	3.5
株式会社西日本シティ銀行	3,703	3.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,437	3.3
シービーエヌワイ ユーエムビー ファンド	1,879	1.8

(注) 当社は、自己株式4,939千株を保有しておりますが、上記の表には記載せず、議決権比率の算定にも含めておりません。

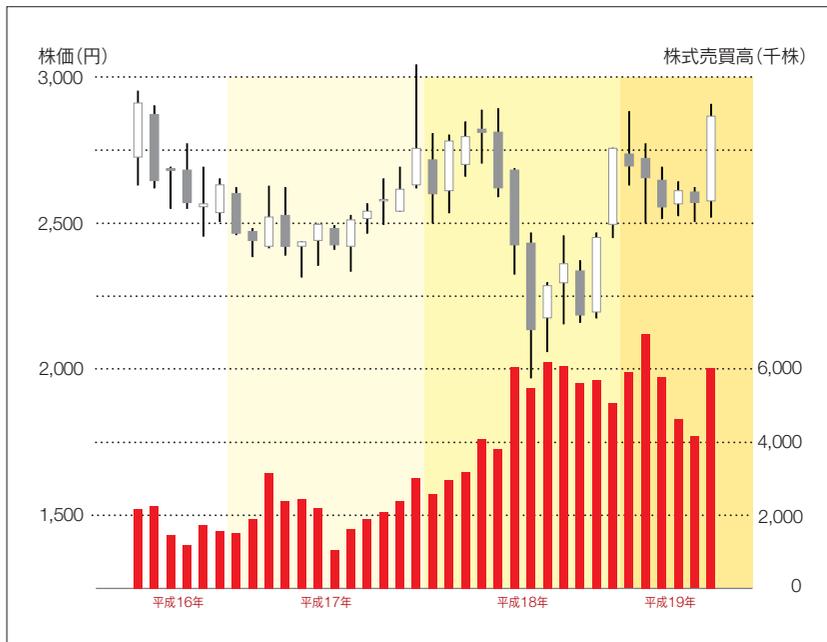
所有者別株式数の状況

	株主数 (名)	所有株式数 (千株)
金融機関	80	16,195
証券会社	30	599
その他の法人	502	48,696
外国法人等	257	28,317
個人その他	22,377	12,377
自己株式	1	4,939
	23,247	111,125

〈株式数の構成比〉



株価および株式売買高の推移



株主メモ (平成19年6月30日現在)

事業年度 1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月
 基準日
 ・定時株主総会 12月31日
 ・中間配当 6月30日
 ・期末配当 12月31日
 その他必要があるときは、あらかじめ
 公告して定めます。

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 (〒540-8639)
 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10
 (〒183-8701)
 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417

(その他のご照会) ☎ 0120-176-417

同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店
 公告掲載方法 電子公告により、当社ホームページ
 (<http://www.cchw.co.jp/koukoku/>)
 に掲載いたします。ただし、事故その他
 やむを得ない事由によって電子公告に
 よる公告をすることができない場合は、
 日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待制度 (平成19年6月30日現在)

コカ・コーラギフト券1枚で、
 500ml PET製品4本と
 お引き換えいただけます。



毎年6月30日現在および12月31日現在の100株以上ご所有の株主さま
 に対し、ご所有株式数に応じて下記のとおり「コカ・コーラギフト券」を
 それぞれ同年9月頃および翌年4月頃に贈呈いたします。

「コカ・コーラギフト券」1枚でコカ・コーラ社製品(500ml PET製品
 (一部の製品を除きます))4本とお引き換えいただけます。

基準日	贈呈基準		優待内容	贈呈時期
	ご所有株式数			
6月30日	100株以上	500株未満	コカ・コーラギフト券 3枚	同年9月頃
	500株以上	1,000株未満	コカ・コーラギフト券 4枚	
	1,000株以上	5,000株未満	コカ・コーラギフト券 6枚	
	5,000株以上		コカ・コーラギフト券12枚	
12月31日	100株以上	500株未満	コカ・コーラギフト券 3枚	翌年4月頃
	500株以上	1,000株未満	コカ・コーラギフト券 4枚	
	1,000株以上	5,000株未満	コカ・コーラギフト券 6枚	
	5,000株以上		コカ・コーラギフト券12枚	

ホームページのご案内

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社のホームページ
 では、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特
 に、株主・投資家のみなさま向けの情報として決算情報、財務情報
 等を掲載しております。また、メールアドレスをご登録いただいた
 方へIR情報サイトの更新や決算発表、ニュースリリースなどをタ
 イムリーにお知らせしております。是非ご覧ください。

▶▶▶ <http://www.cchw.co.jp/ir/>

IRニューズメール配信の
 ご登録はこちらから



Coca-Cola West

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社

〒812-8649 福岡市博多区住吉一丁目2番25号
キャナルシティ・ビジネスセンタービル5階
広報・IRグループ TEL 092-283-5718
<http://www.ccowh.co.jp/>

